

## 第4回秩父市役所本庁舎等建設市民会議 議事要旨

- 1 日 時：平成23年9月13日（火）午後2時00分～3時55分
- 2 会 場：秩父市歴史文化伝承館2階ホール
- 3 出席者：委員 27人（欠席3人）  
市関係者4人 埼玉県住宅供給公社職員2人
- 4 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 第3回議事要旨について
- (2) 整備方法について〔補強 or 建替〕前回資料3  
市役所本庁舎  
市民会館
- (3) 建設地について〔(2)で建替えとなった場合〕
- (4) その他

### 3 事務連絡

第5回 秩父市役所本庁舎等建設市民会議  
日 時 平成23年9月27日（火）午後2時00分～  
会 場 秩父市歴史文化伝承館2階ホール

### 4 閉 会

- 5 会議内容

### 1 開 会

・副会長あいさつ

### 2 議 事

- (1) 第3回議事要旨について

#### 【会 長】

第3回議事要旨について、事務局に説明を求める。

**【事務局】**

議事要旨を事前に送付したところ、一部修正の連絡をいただいた。正誤表を配付したので、修正をお願いしたい。

**【会 長】**

この件について意見はあるか。

(追加の修正意見・異議なし)

議事要旨は正誤表のとおり一部修正し決定する。

**(2) 整備方法について[補強 or 建替]前回資料3**

**【会 長】**

この件について、事務局に説明を求める。

**【事務局】**

補強か建替えかについて、前回の会議で、すぐに採決したらどうかという意見もあった。採決をする前に、補強の立場での意見、建替えの立場からの意見、また、その他の意見があれば、発表した上で、採決をお願いしたい。

**【会 長】**

それでは、まずは、市役所本庁舎について、「補強の立場」での意見はあるか。

<意見なし>

**【会 長】**

次に、市役所本庁舎について、「建替えの立場」での意見はあるか。

**【委 員】**

確認しておきたいが、これまでの会議で、耐震補強する場合と建て替える場合の議論を行ってきた。大きく分けると3つの課題がある。①物理的な部分、②機能的な部分、③財源の問題である。このうち、最も重要なことは物理的にどうなのかということになる。コンクリートの老朽化などから、物理的に補強が可能なのかどうか。補強ができないのであれば建て替えしかない。事務局の説明から判断すると、耐震補強は現実的ではないという印象を受けたがどうなのか。

**【事務局】**

耐震方法は、免震、制震、耐震の3方法があり、それぞれにメリットとデメリットがある。比較検討した上で、耐震ブレースを入れる補強案を提案した。コンクリートの老朽化については、中性化や強度不足もあり良い状態ではない。厳しい状況にあると考えている。秩父でも震度5弱という地震があった以上、今後も想定しておく必要がある。

**【委員】**

今回の地震で庁舎が被災したが、建設時に震度5弱を想定していなかったというわけではない。関東大震災の規模を想定して基準が作られている。ただ、当時は想定していなかった直下型の宮城県沖地震の被害を受けて、昭和56年に新耐震基準が作られた。

**【委員】**

採決の方法として、補強と建替えの選択肢だけでなく、「まずは壊すだけ」という選択肢はないのか。

**【事務局】**

その他のご意見もあれば、選択肢となる。「その他①案」として扱う。

**【委員】**

震災後、歴史文化伝承館に庁舎機能を移転して収まっている。現状で、庁舎としての機能は確保されているので、公民館と市民会館を新たに建設するという意見も追加してもらいたい。

**【事務局】**

「その他②案」として扱う。

**【委員】**

市役所は、言ってみれば「へそ」であり中心である。現在は、議会は吉田総合支所にあり、今後も他の部局の移転があるらしい。どこに何課があるかわからなくなっている。そもそも、歴史文化伝承館は、市役所の機能を目的に建設されていない。防災設備もない。この話は、今後何十年も影響が出る問題であり、ここ3～5年を考えていることではない。資金計画も見通しが立っているようなので、しっかりとした庁舎を作るべきである。

**【委員】**

建替えの場合、規模は今後検討していくということによいか。

**【事務局】**

そのとおりである。

**【会長】**

それでは、採決をしたいと思うがよろしいか。

**【委員】**

会長の採決権のルールはどうなるのか？ よくあるケースとして、当初は採決に参加せず、賛否同数の際には、会長が判断する。

**【事務局】**

要綱では、この会議で定めることになっている。事務局としては、会長は採決に参加せず、副会長は参加する。ただし、賛否同数のときは会長が判断するという方法でいかがか。

**【会 長】**

事務局案でよいか。

<異議なし>

**【会 長】**

それでは、市役所本庁舎について、補強・建替えの採決をする。

まずは、「A補強」に賛成の方は、挙手してもらいたい。

<挙手なし>

**【会 長】**

次に、「B建替え」に賛成の方は、挙手してもらいたい。

<23人が挙手>

**【会 長】**

23人の挙手があった。

次に、その他①、②について賛成の方は挙手をお願いします。

<その他②に1人の挙手>

**【会 長】**

採決により、補強0人、建替え23人、その他②1人、棄権2人という結果であった（会長を除く出席委員26人）。以上により、市民会議として、「市役所本庁舎は建て替える」と決定してよろしいか。

<異議なし>

**【会 長】**

それでは、市役所本庁舎は「建替え」と決定する。

**【委 員】**

誤解を招くといけないので、一言発言しておきたい。

今回、事前に意見を出しておいたが、建替えの方針は、以前から検討されていた。その過程で東日本大震災により被災した本庁舎と市民会館が、この震災によりどれだけの被害を受けたのか、調査をしておく必要があると思う。

**【事務局】**

一般市民から、「どれだけ被害を受けたのか」という声が出ている。議会の特別委員会からも被害調査の実施について申入れがあった。市の推進本部会議でも意見があった。現在は予算措置をしていないが、早急に協議し、検討していきたい。

**【会 長】**

次に、進みたいと思う。

市民会館について、「補強の立場」での意見はあるか。

<意見なし>

**【会 長】**

それでは、市民会館について、「建替えの立場」での意見はあるか。

**【委 員】**

市民会館は、昭和42年の国体に合わせて体育館として建設された。それを昭和54年にホールとして改修している。難しい工事であったが、なんとか1,110席の大ホールを作り、これまで大切な役割を果たしてきた。法律の改正などのたびに改修を重ねており、もはや改修には限界があり、建て替えるしかないと思う。

**【委 員】**

ホールを利用してきた立場での意見だが、ホールの存在価値は、催し物を行うためだけではない。先日もミューズパークで「オペラミカド」が開催されたが、秩父市出身の人だけであれだけの素晴らしい公演ができる。幼稚園の遊戯会、中学校・高等学校の発表会、ダンス、バレエなど、いろいろな経験をすることで人材を育成する場となっている。私たちの音楽団体も人を育てるという意義があると思っている。きちんとした施設で演じ、きちんとしたものを見たり聞いたりできる施設は必要だと考える。

**【委 員】**

中学校の教育振興会に携わっているが、学校の文化事業として、市民会館で合唱祭を行ってきた。いつもとは異なる環境で、保護者や地元の人たちが観客としていて、大きな声で堂々と歌うことで、心の豊かさを育み、地域とのふれあいやコミュニケーションの場となっていた。今年は、中学校の体育館で行うことになるが、市民会館であればいろいろな相乗効果が期待できる。規模については、今後検討していけばよい。

**【委 員】**

現在地には駐車場が404台分あるというが、公用車も多いと思う。駐車場の問題があり、1,000人規模のホールは難しい。現在地に建て替える案ならば、取り壊すだけでよいと考える。

**【委 員】**

モータリゼーションの発展により、車だけのことを考えれば郊外に建設するという考えもある。一方で、高齢者など交通弱者のことを考えれば、公共交通機関の利便性が高い場所が良い。現在地でも、合築などにより工夫すれば駐車場のスペースも確保できると思う。

**【委 員】**

街中に住んでいる人と郊外に住んでいる人とでも意見は違うと思う。

**【委 員】**

建設位置や規模は、あとで検討すればよい。まずは、補強するのか建て替えるのかを決めるべきである。

**【会 長】**

それでは、市民会館について、補強・建替えの採決をする。  
まずは、「A 補強」に賛成の方は、挙手してもらいたい。  
<挙手なし>

**【会 長】**

次に、「B 建替え」に賛成の方は、挙手してもらいたい。  
<23人が挙手>

**【会 長】**

23人の挙手があった。  
採決により、補強0人、建替え23人、棄権3人という結果であった（会長を除く出席委員26人）。以上により、市民会議として、「市民会館は建て替える」と決定してよろしいか。  
<異議なし>

**【会 長】**

それでは、市民会館は「建替え」と決定する。

**(3) 建設地について**

**【会 長】**

建設地について、事務局に説明を求める。

**【事務局】**

<建設地の方向性資料を配付>  
資料について、A案からD案について説明する。

**【会 長】**

この件について、意見はあるか。

**【委 員】**

それぞれの案について、市民会館のホールの規模はどのくらいか。

**【事務局】**

いずれの案も座席数は現在と同規模を考えている。

**【委 員】**

識見を有する立場から、まちづくりの観点から前置きをした上で質問したい。ここ20年くらい、郊外型商業施設が隆盛してきたが、反動として、中心市街地が寂れてしまった。その後、高齢化社会の進展に伴い、都心回帰が見られるようになった。秩父地域は、自動車への依存度が高いため郊外型が前提となりがちだと思う。その場合、中心市街地はどうなってしまうのか。総合振興計画では、旧秩父セメント第一工場跡地は、周辺と一体となり新たな行政・文化・経済の中心地となることが期待されているという説明があった。しかし、今回提示されたA～D案では、いずれも市庁舎

は現在地に建設する案となっている。

市庁舎がセメント跡地に移る計画が、どのような過程でなくなったのか確認しておきたい。念のため言うておくが、現在地ではいけないという意見ではなく、偏った案で検討してはいけないということで、例え消えてしまう案だとしても「セメント跡地に市庁舎を移設する」という案も加えておくべきではないか。否定される案であっても、<sup>そじょう</sup> 俎上に載せたという事実が重要であって、抜け落ちていたわけではないという過程が大切である。

**【事務局】**

(仮称) ふるさと学習センターをセメント跡地に建設するという計画が変更されたのは3月11日の東日本大震災の影響。それまでは、(仮称) ふるさと学習センターと合わせて建設計画を検討していた。検討中に震災があり、(仮称) ふるさと学習センターの計画は延期若しくは中止することとなり、本庁舎を現在地にという方針に転換した。

**【委員】**

なぜ、震災で変更したのか。

**【事務局】**

セメント跡地に、基礎コンクリートなど埋設物の問題が生じていた。市民の安心安全な生活を守る市役所機能を早急に復旧させるには、クリアしなければならない課題が多く、コスト的にも時間的にも難しいと判断した。

**【委員】**

私は、ふるさと学習センターの懇話会にも参加していたが、懇話会の提言でも「本庁舎は現在地、市民会館はセメント跡地」という内容だった。議会における検討も同様な方向で進んでいたと聞いた。3月11日の震災で、本庁舎が使えなくなり、市長が最優先課題に位置づけたということだった。震災前も震災後も、建替えの方向は変わっていない。しかし、場所は「合築」に変わった。私の認識では、スピードを優先したのだと思っている。また、コストの問題もあるのだと思う。短期間で完成させるには「合築」がよいという判断に至ったのだと思っているが、その点について、再確認しておきたい。

**【事務局】**

A～D案というのはあくまでも例である。皆さんからのご意見があれば、その他に追加していく。セメント跡地は、13万㎡もの広大な土地を活用していく大きな計画であり、ふるさと学習センターはその第一歩であった。しかし、本庁舎あるいは市民会館のみを建設するために、インフラ整備などに大きな経費をかけることについては、費用対効果の面から難しい部分がある。震災で、本庁舎を優先することになったが、さらにふるさと学習センターまで建設する財政的な余裕はない。また、ふるさと学習センター

建設懇話会の提言、市議会からの申入れ、商工会議所からの申入れなど、いずれも「本庁舎は現在地に建替え」という内容であった。先週9月8日にも、市議会の特別委員会から、「本庁舎は現在地に建替えが望ましい」という申入れがあった。

**【委員】**

商工会議所としては、本庁舎のセメント跡地への移転には反対の立場である。地元の商店街が大きな影響を受ける。

**【委員】**

私もふるさと学習センターの懇話会に参加していたが、歴史文化伝承館には以前から庁舎機能も入っており、セメント跡地に移転すると機能が分散してしまうという意見があった。しかも、セメント跡地は私有地でもあることから、本庁舎は現在地が望ましいという結論だった。

**【委員】**

A案、B案を見ると、本庁舎のみの建設費用は20億円前後を想定している。まずは、本庁舎だけを建設して、残る財源は留保しておいて、市民会館の建設については、後でじっくり考えればよいのではないか。

**【委員】**

ふるさと学習センター懇話会でも、市民会館の駐車場の問題は最大の課題であった。市民会館を解体すれば跡地を駐車場として活用できるという説明だが、何台分くらい確保できるのか。

**【事務局】**

市民会館の建築面積は約2,000㎡あり、本庁舎の約1,500㎡よりも広い。100台～120台分は増やせると考えている。

**【委員】**

現庁舎の1階は窓口であり、新しい建物でも1階になると思われる。合築して、市民会館のホールは何階になるのか。敷地に対してどのように建物を配置するのか。構想図を提示してもらいたい。いずれにしても、本庁舎と市民会館と歴史文化伝承館で行事が重なると、駐車場は足りないと思う。また、ホールを最上階にするとエレベーターなどの増設が必要になる。ランニングコストのかからない施設にしてもらいたい。

**【事務局】**

既存する樹木もあり、どのような配置になるか図面を作成中である。

**【委員】**

駐車場が100台くらいの増加ではとても足りないと思う。

**【事務局】**

ホールの規模などは今後検討していくことになるが、駐車場については、地下利用や立体化などの方法もある。



**【委員】**

404 台の駐車台数のうち、公用車は何台含まれているか。

**【事務局】**

67 台ある。

**【委員】**

新庁舎が完成した場合、現在分散している部局は呼び戻すことになるのか。

**【事務局】**

呼び戻す予定。市民の皆さんに不便をおかけしており、それを解消しなければならないと市長は考えている。また、分散させている支所も老朽化が進んでおり、今後、改修の必要性もある。

**【委員】**

現在、分散配置をしているが、少子高齢化に伴い、学校や市有財産に空きが出てきている。分散配置しても十分にやっつけていける部局があるのであれば、できる限りコンパクト化・低層化を図るべきである。

**【委員】**

学校に空き教室があるという意見だが、実際には空き教室はない。また、学校に市役所などの公共機能が含まれることになると、不特定多数の人間が入り出すことになり、子どもたちの安全が確保できなくなる。それに、鍵の開け閉めなど、施設管理を誰がすることになるのか懸念される。分散配置についても、分散化してしまうと相談一つするにも大変である。例えば、児童虐待の相談などは、多くの担当課にまたがることになる。そのたびに、担当者が集まったり、市民が行き来したりするのでは移動のためのコストや時間のロスが積み重なっていく。1箇所集中していることの市民の恩恵は大きいと思う。

**【委員】**

空き教室は、学校に市役所機能を併せ持たせるのではなく、学校区を見直し、統合していくことが前提となる。使わなくなった学校を庁舎機能として活用していけばよいと思う。また、現在、分散配置をしているわけだから、具体的にどのような弊害が出ているのか検証していく必要がある。

**【委員】**

学校を一つ統合するのは、5年や10年でできる問題ではない。大変な騒ぎになる。簡単にはできない。

**【委員】**

市役所を訪れる機会が多いのだが、駐車場の2/3は公民館の利用者だと感じている。商工会議所の委員会で、東高の再利用について検討しているが、公民館活動の一拠点として東高を活用できれば、駐車場問題も改善できる

のではないか。

**【委員】**

中央公民館は、歩いて、自転車でも、公共交通機関でも通える便利な場所だった。影森公民館に一部移っているが、不便だという声が出ている。

**【委員】**

歴史文化伝承館の1階を庁舎として使っているが、新庁舎が完成してもすべてを戻さなくてもよいのではないか。

**【事務局】**

元々公民館として使用していた部分は、元に戻したいと考えている。市長も、公民館利用者に「必ず戻すから」と約束している。

また、歴史文化伝承館の陶芸室・美術室など、公民館部分は専用に造られており、建設費も高くなっている。そこを事務室として使用するのではもったいない。

**【委員】**

市の業務には、住民票や戸籍の発行などがあるが、必ずしも市役所本庁舎でなければできないというものでもない。銀行はATM機があればほとんどの用事は足りる。コンビニでの証明書発行や民間委託など、業務の見直しを進めるべきである。

**【委員】**

ふるさと学習センター建設懇話会でも、駐車場の検討には苦労していた。配置図などの図面がないとわからないが、市民会議において、そこまで詳細な検討をする必要があるのか。

**【委員】**

イメージとしては、合築のA案だが、市民会館の席数、庁舎の規模、階層など、もう少し情報が欲しい。

**【事務局】**

A案～D案まで、施設の規模は同等で考えている。ただし、A案のみ合築により共有部分のコンパクト化を図る計画。

**【委員】**

建設地を決定するには、情報が足りない。これほどの大事業について検討するのだから、慎重に考えるべきである。規模なども考慮した上で、合築にするかどうかを判断していきたい。

**【委員】**

公募委員に選出された翌日に、自分で巻尺を使って敷地を測ってみた。かなり広いスペースがあり、合築も可能だと思った。ケヤキが邪魔になるので、切りたくはないが、子木を育てるなどした上で、切るのも止む無しかもしれないと思った。

**【委員】**

歴史文化伝承館を建設する際にも、サクラやモミジについて、「切る、切らない」の話があった。しかし、そのときは、切らない方針を選択して移植した。ケヤキを切るとなるとかなりの反論が出ると思う。

**【委員】**

駐車場の問題は平場で考えず、2階程度の自走式の立体駐車場にする方法もある。それほど、コストもかからないと思う。

**【委員】**

夜祭の観覧席が今年から「稼動型スタジアム方式」に変わる。2階建ての駐車場が固定されて邪魔になるようだ困る。

**【委員】**

次回までに、他の自治体で、同規模の市民会館と庁舎が併設されているような事例について調べておいてもらいたい。どこも苦労していると思う。駐車券を発行して、スタンプを押すところもある。用がないのに、車を置きっ放しにしている人もいるし、西武線の利用者も多いのだと思う。他の自治体で、どのくらいの駐車台数を確保していて、それで足りているのか。何台分の駐車場があれば足りるのか、データが欲しい。

**【事務局】**

検討する。ある県庁所在地の市で、庁舎と市民会館（1,500席）を併設する計画が進んでいる。そこでは、駐車場は750台を計画している。

**【委員】**

1回目の市民会議で、市役所の担当課長会議について説明があった。機能や規模について、検討しているのだと思う。必要となるフロア面積や駐車場などの情報があれば、その資料を市民会議に提示してもらうことはできるのか。

**【事務局】**

駐車場の台数については、担当課長会議で検討していない。面積についても、各課の要望を積み上げただけでは大きくなりすぎてしまうので、今後調整していくことになる。資料を提示できるかどうかは、今後検討する。

**【委員】**

市民会議の意義についてだが、市議会の意見、市長の意向などがあることもわかるが、最終的に市民会議の意見が尊重されるようお願いしておきたい。

**【会長】**

この議題については、引き続き次回に検討していくことにする。

### 3 事務連絡

#### 【事務局】

次回は9月27日（火）の午後2時から、本日と同様、歴史文化伝承館2階ホールで開催する。なお、欠席、あるいは、途中の参加、退席の方は、事務局まで連絡いただきたい。

### 4 閉 会

・副会長あいさつ